

# モノづくり最前線

## 岐阜リーディング企業

鶏卵は一人当たりの生産性が高く、物価の優等生といわれる。農水省の畜産統計によると、その卵を産む鶏は全国に約一億五千万羽、飼養戸数は約七千三百羽未満。こうした日本の鶏卵生産を支えているのが、東洋システムの「アムオートメーション」だ。全国シェアはほぼ四〇%。十年ほど前から日本一の座は揺らいでいない。

同社のシステムには鶏の居住環境、えさやり、給水のほか、衛生的で効率的な集卵など、抗生物質を使わない健康な卵を新鮮な

## 東洋システム



安田勝彦社長

# 先進技術で鶏卵生産支援

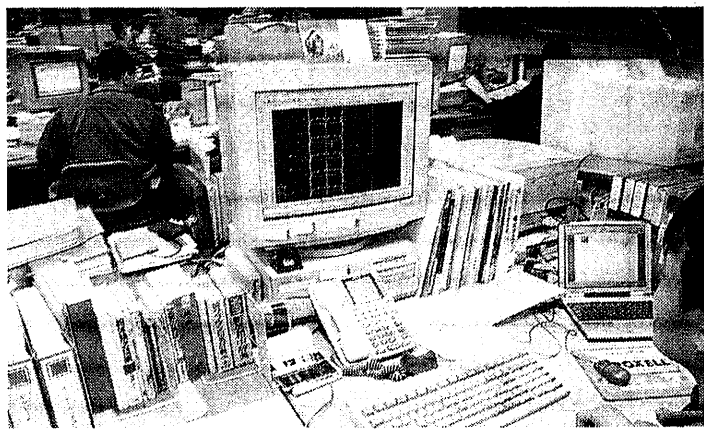
原市に拠点を移し、欧州のトップメーカー独サルメック社との共同開発などで日本一の地位を確立した。「他社より一歩進んだシステム提供がユーザーに評

数に技術者。営業担当はわずか三人だ。九五年に開発した鶏ふん予備乾燥システムも開発力、技術力の成果の一つ。鶏ふんが発散する熱は十

に貢献している。「鶏ふんは燃やすと石炭とほぼ同じ熱エネルギーがある。補助燃料としての研究も進めた」と意欲を燃やす。さらに同システムからは

小人数による高収益企業を目指している。年商三十億円を支える社員のうち半

## 半数が技術者 開発力に自信



東洋システムの心臓部となる設計部門。提携先の独メーカーなどと情報を交換しながら開発を進める一各務原市金属団地

沼という。十万羽の鶏舎から百万キログラムの熱量。この熱で鶏ふんを乾燥させてクリーンな環境と有機肥料化

【企業プロフィール】1997年まで2期連続の赤字だったが、98年9月に赤字転換。以後、1億円以上の経常黒字で業績上昇中。少数人数での高収益体質づくりへ、開発のみならず、事務処理、情報管理にも力を入れ、女性登用にも積極的。

▽本社 各務原市金属団地97の4▽創立 1972(昭和47)年6月▽資本金 9000万円▽従業員 30人▽電話 0583(83)1135

以上から三・五層以上に対応させ、車の修理工場など小規模施設を次のターゲットに据えている。「新規事業として展開し、売り上げ全体の二〇%にもっていきたい」という。

各ユーザーに補修部品を常備してもらうことで、技術社員一人でも対応できる年中無休のサービス体制も確立し、休みのない養鶏場の不安を払しょくした。顧客満足度も高めながら、「ベンチャーの希望の星になれる企業」を目指している。